

海外留学 先輩の声



留学先(国名):

チュラロンコーン大学(タイ王国)

準備(留学前)で1番大変だったことは？

文化交流で行う出し物の準備が一番大変でした。出し物の練習やスライド作成、英語原稿の準備など、すべての準備に2か月程度かけました。出し物では日本の昔遊びを紹介しましたが、久しぶりに取り組む昔遊びにも苦戦しました。また、日本の昔遊びを英語で説明しないといけなかったため、「どうやったらより理解してもらえるか」ということを考えながらスライドを作成することにも時間がかかりました。

今回の留学中、1番印象に残っていることは？

サラブリーというタイの郊外における実習が強く印象に残っています。サラブリーでは、保健医療部の学部4年生が実際に自分たちの手で住民の健康診断を行う実習が行われ、私たちも簡単な尿検査や血液検査をお手伝いさせていただくことができました。私自身、日本の臨床検査技師の知名度はそこまで高くないと感じていますが、サラブリーで臨床検査学科の学生が住民の方々の健康診断を受け持つところを目の当たりにして、タイでの臨床検査と社会の繋がりを目の前で実感することができてとても嬉しい気持ちになりました。

留学を終えて、後輩達に伝えたいことは？

研究室での実習、文化交流、大学の実習への参加、現地の学生との交流などかなり密度の濃い研修です。特に研究室での実習は、研究室によっては初めて学ぶ内容も多く、すべて英語でコミュニケーションを取ることになるので、初めは理解に時間がかかるかもしれませんが、現地学生が丁寧に教えて下さるので安心してください。その中で研究室のメンバーと仲良くなることもできます。検査技術学専攻の学生で、少しでも海外の研究室や海外(特に東南アジア)の医療事情に興味がある人はぜひ積極的に応募してください！

留学中のお気に入りの写真を貼って下さい！



コメントをどうぞ: バンコクにある赤十字です。タイでは献血が盛んに行われています。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。

国際交流課 学生派遣係 一同